

平成 30 年度 建築物解体工事等における環境調査結果

【概 要】

県が所管する区域（横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市及び藤沢市を除く区域）において、大気汚染防止法第 18 条の 15 に基づく届出が行われた特定粉じん排出等作業のうち、大規模解体工事等について作業基準の遵守状況等を確認するため、工事現場の周辺で大気中のアスベスト濃度を測定した。

【調査結果】

平成 30 年度に実施した建築物等の解体等工事現場周辺における環境調査の結果（アスベスト繊維数濃度）は、大気汚染防止法のアスベスト製品製造・加工工場の敷地境界基準の 10 本／リットルを下回った。

このほか、必要に応じて集じん・排気装置*の適正稼働の確認のために排気口付近でも調査を併せて実施し、調査結果に応じて必要な指導を行った。

* 解体工事等の作業場から外部にアスベストが飛散しないよう、場内の気圧を外部に対して低く保つために排気を行う装置。集じんして清浄化した空気を排出する。

表 平成30年度アスベスト環境調査結果

No.	建築物所在地	建築物 延べ面積 (㎡)	アスベスト 使用面積 (㎡)	測定日	測定結果 (本/リットル) ※1				
					建築物等周辺			(参考) 集じん・排気装置排気口	
					位相差顕微鏡※2		電子顕微鏡	位相差顕微鏡	電子顕微鏡
					総繊維数濃度		※3 アスベスト 繊維数濃度 最大値 (総繊維数濃度)	総繊維数 濃度 最大値	※4 アスベスト 繊維数濃度 最大値 (総繊維数濃度)
最大値		最小値							
1	厚木市山際	6,554.8	31.65	4月3日	8.8	4.5	0.37未満 (13)	—	—
2	二宮町百合ヶ丘	4,224	1,038	4月10日	0.76	0.34	—	—	—
3	箱根町二ノ平	5,848.95	240.0	8月3日	0.93	0.41	—	—	—
4	小田原市栄町	1,043.33	29.14	8月30日	1.7	0.17	0.36 (9.2)	—	—
5	小田原市栄町	1,043.33	29.14	9月19日	1.1	0.68	0.36未満 (5.5)	—	—
6	厚木市緑ヶ丘	5,896	7,840	11月2日	0.34	0.11	—	—	—
7	海老名市国分北	390	398.88	11月22日	0.98	0.70	—	—	—
8	茅ヶ崎市新栄町	14,906.8	18,075.6	12月3日	13	0.57	8.1 (30)	19	22 (68)
9	茅ヶ崎市新栄町	14,906.8	18,075.6	12月7日	2.4	—	0.36 (6.2)	0.48	—
10	秦野市洪沢	1,979.62	27.82	1月16日	0.28	0.056	—	—	—
11	茅ヶ崎市茅ヶ崎	2,911.51	80.52	2月13日	0.56	0.39	—	—	—
12	秦野市曾屋	14.4	59	3月20日	0.22	0.11	—	—	—
13	茅ヶ崎市富士見町	621.84	457	3月22日	0.85	0.48	—	—	—
14	小田原市成田	19,516	525	3月25日	0.34	0.22	—	—	—

※1 「アスベストモニタリングマニュアル(第4.1版)」(環境省)に基づき測定を実施しました。

- ・位相差顕微鏡法で総繊維数を計数する。
- ・位相差顕微鏡法の測定結果(総繊維数濃度)が1本/リットルを超過したのものについては、電子顕微鏡によりアスベストを同定して計数する。

※2 複数箇所にて採取した試料を位相差顕微鏡で測定した結果の最大値及び最小値を示しています。

※3 分析走査電子顕微鏡で測定したアスベスト繊維数濃度の最大値が確認された箇所(全ての箇所にて検出下限値未満の場合は、分析走査電子顕微鏡で測定した総繊維数濃度の最大値が確認された箇所)の結果を示しています。(括弧内は同じ箇所の総繊維数濃度の結果です。)なお、位相差顕微鏡法の測定結果(総繊維数濃度)が1本/リットル以下の場合、※1に示すとおり電子顕微鏡法による測定の必要がないため、結果は「—」と表示しています。

※4 分析走査電子顕微鏡で測定したアスベスト繊維数濃度を示しています。(括弧内は総繊維数濃度の結果です。)なお、位相差顕微鏡法の測定結果(総繊維数濃度)が1本/リットル以下の場合、※1に示すとおり電子顕微鏡法による測定の必要がないため、結果は「—」と表示しています。(位相差顕微鏡法の測定結果も「—」となっているものは測定箇所として選定していないものです。)